

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム陽だまりの園	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人照陽会 ・代表者名 理事長 高橋 照比古 ・住所 川崎市多摩区栗谷2-16-6	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 50人) 在籍者数 44人(平成30年3月31日現在:入院等不在者を含む)								
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	
	利用者数	3	1	9	14	17	0	44	
	②通所介護事業(通所定員 34人/日) 年間延べ利用者数 4,730人:定員に対する稼働率 54.3%								
利用実績	延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	延べ利用者数	406	484	427	397	453	432		
利用実績	延べ利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	延べ利用者数	402	373	378	299	324	355		
利用実績	③短期入所事業(通所定員 10人) 年間延べ利用者数 1,181人:定員に対する稼働率 32.3%								
	延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	延べ利用者数	99	76	68	84	97	87		
	延べ利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
延べ利用者数	108	138	116	107	96	105			
利用実績	④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成30年3月分)								
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	
	管理者数	10	15	5	2	0	0	32	
	収支実績								
収支実績	①特別養護老人ホーム事業□ (収入)				(支出)				
	介護料収入				132,527,106	人件費	123,067,156		
	利用者等利用料収入				39,429,653	事業費	32,191,814		
	その他の事業収入				5,969,003	事務費	12,314,041		
	合計				177,925,762	合計	167,573,011		
					(収支差額)				10,352,751
	②通所介護事業 (収入)				(支出)				
	介護料収入				37,477,186	人件費	34,639,373		
	利用者等利用料収入				3,759,682	事業費	8,909,187		
	その他の事業収入				224	事務費	2,649,055		
	合計				41,237,092	合計	46,197,615		
					(収支差額)				▲ 4,960,523
③短期入所事業 (収入)				(支出)					
介護料収入				10,879,531	人件費	24,391,139			
利用者等利用料収入				3,211,190	事業費	6,347,790			
その他の事業収入				45	事務費	2,402,616			
合計				14,090,766	合計	33,141,545			
				(収支差額)				▲ 19,050,779	
④居宅介護支援事業 (収入)				(支出)					
介護料収入				5,195,324	人件費	5,495,757			
利用者等利用料収入				0	事業費	120,000			
その他の事業収入				13	事務費	280,448			
合計				5,195,337	合計	5,896,205			
				(収支差額)				▲ 700,868	
(収入)				(支出)					
介護料収入				186,079,147	人件費	187,593,425			
利用者等利用料収入				46,400,525	事業費	47,568,791			
その他の事業収入				5,969,285	事務費	17,646,160			
合計				238,448,957	合計	252,808,376			
				(収支差額)				▲ 14,359,419	
サービス向上の取組	<p>○常に施設全体で情報共有を図り多職種協働で課題解決に向けて取組む体制(全事業・全部門の代表者及び可能な限り出勤者が参加して行う毎朝の朝礼、申し送り、外部研修に参加した場合は職員全体会で伝達研修を行うこと、職員は必ず委員会部会活動に所属する等)を整えていることで利用者のニーズに合わせた柔軟な対応、職員個々の視野を広げてスキルアップ、業務改善を可能とし、さらにサービスの質の向上、職員のモチベーションアップにつながる好循環を生んでいる。</p> <p>○かながわライフサポート事業の活動、SOSかわさき事業、川崎市居住支援協議会の会議等に積極的に参加して介護現場で起きている様々な課題を共有し解決に向けての活動に努め、各関係機関との連携強化につなげている。</p> <p>○地域包括ケアシステムの構築を意識した取組の推進を図っている。通所介護事業のスペースについて、サービス提供時間以外を地域交流スペースとして開放するなど、その活用方法、取組について関係機関と連携、地域町会の方々とも活発に意見交換を行いながら地域との良好な関係構築、地域貢献に取り組んでいる。</p>								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>介護サービス全般において①人格尊重した日常生活援助②快適な生活③一貫したケア④余暇の充実⑤家族との連携⑥離床と寝食分離⑦褥瘡予防⑧口腔ケアの充実⑨身体拘束廃止維持⑩密な記録観察、を心がけ、利用者の心に寄り添う姿勢で常にニーズの把握に努める体制の維持に努めている。(区役所より緊急対応の要請があったケース等の好事例がある。)</p> <p>ホームページにおいて、決算報告書の開示や施設行事の様子をブログ更新している。事業によっては、自己評価を実施し、サービスの質の向上につなげた。また、家族懇談会では普段の生活の様子をパネルにし掲示した。かわら版「陽だまり号」を作成して家族に配布する等情報提供にも努めている。</p> <p>「地域に根ざしたひらかれた施設」を目指し、使用していない施設のスペースを開放し近隣の町会や高齢者団体に地域交流スペースとして貸出す活動(年間延べ利用者数970名)を続けている。</p> <p>利用者のADL(日常生活動作)を把握し、それぞれが楽しみながら身体を動かして残存機能の維持・向上できるような援助及び除圧や離床等を心掛け、褥瘡予防にも努めた。</p> <p>感染症委員会を設置(29年度6回開催)し、感染症及び食物中毒に関する知識の習得と予防対策の検討、業務改善への取組を行った。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
収入増加のための具体的な取組が為されているか					
適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>全事業について必要なものを削らずに無駄をなくす(例:水の流しっぱなし等)共通認識のもと、少ない支出で四季が感じられるサービスや職員とのやりとりが楽しみとなるようなサービス提供(夕涼み会の多摩川花火鑑賞、初詣、ホームバーの充実、吹き矢ゲーム)などを推進している。</p> <p>省エネルギー仕様の設備の検討を進め、ランニングコストの低下を意識した厨房設備の入れ替えを行った。</p> <p>看取りについて、家族懇談会においての意見交換に力を入れ、身元引受人や家族の理解を図り、経費をかせずにスムーズなサービス提供につなげている。</p> <p>収入増加について、地域包括ケアシステムの実現に向けて住み慣れた地域で暮らしていけるよう通所介護事業と短期生活介護事業とあわせ個別対応に注力し稼働率を上げるよう努めている。</p> <p>会計処理については、サービス提供がなされたことを証明する記録の整備、実績入力、請求業務等を複数の職員が分担。法人本部機能とも連携しながら、会計のミスを防ぐ体制を構築している。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	3	6
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>かながわライフサポート事業の活動、SOSかわさき事業、川崎市居住支援協議会の会議等に積極的に参加して介護現場で起きているいろいろな課題を共有し解決に向けての活動に努め、各関係機関との連携強化につなげている。</p> <p>施設のスペースを地域交流スペースとして開放し継続的に地域交流を行うなど地域と顔が見える関係づくりに取り組むことでサービスの利用促進にもつなげている。</p> <p>常に施設全体で情報共有を図り多職種協働で課題解決に向けて取組む体制を整えていることで利用者のニーズに合わせた柔軟な対応、職員個々の視野を広げてスキルアップ、業務改善を可能とし、さらにサービスの質の向上、職員のモチベーションアップにつながる好循環を生んでいる。</p> <p>入居者の食生活の充実のため、入居者の方々の嗜好、栄養バランスのほか「手作り」、「味」、「見た目」、「季節感」にこだわった食事を提供。そのための衛生管理も徹底して行っている。</p> <p>サービスごとに常設の窓口(連絡先)及び担当者を設置し、契約説明の際に紹介。施設内に意見箱を設置。また、利用者からの苦情を処理するために講ずる措置の概要を施設内に掲示し、苦情があった場合には迅速な対応を心がけ、記録の適切な保管、再発防止に役立てるよう体制を整備している。家族懇談会を開催して、意見、要望等を伝えやすい環境づくりに努めている。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4
	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。				
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>職員の介護技術の向上に向けた取組や職員のモチベーションアップに繋がる法人による表彰制度等の他、日ごろから職員の個別の事情にも配慮して人材育成、職場定着促進に注力している。</p> <p>安全・安心への取組として、緊急対応マニュアルに基づいた迅速な連絡体制を整備するとともに、事故が発生した場合には、事故報告書を作成し、事故防止委員会を開催、発生原因の究明、再発防止策を立て周知、再発防止策は複数の対策を立てることにより、事故をより少なく、かつ大事故にならないよう努めている。</p> <p>川崎市社会福祉協議会の主催する、災害プロジェクト委員会に参画し情報交換及びBCP(災害時等事業継続計画)策定に取り組んだ。</p> <p>個人情報保護の取組として、他の媒体にパスワードを管理、保管し、書類はシュレッダー処理を徹底している。</p>				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>施設の老朽化で設備の不具合が続く中、保守・修繕に努めている。工事業者が間に合わないときには入居者・利用者へのサービスに影響がでないよう法人として緊急夜間工事を行い対応を図った。</p> <p>「公共建築物定期点検マニュアル」、「公共建築物定期点検表」に基づく点検を実施し、防火管理者による消防自主点検も実施している。</p> <p>介護システムの電子化を進め、業務日誌・点検記録・修繕履歴が閲覧できるよう各職員にIDを発行しより細かな情報の共有を図っている。</p> <p>専門の警備員を配置し、施設内外の警備の強化を行っている。</p> <p>備品の適正管理、消耗品の補充等については、品目ごとに担当者を明確にし、無駄のない発注に努め、使用方法についても係長級職員を中心に週間、月間ベースで検討しながら適切に行っている。</p>				

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>多職種の連携、ご家族、各種サービス事業所、医療との連携に力を入れ、利用者のニーズを把握しながら、残存機能を活用したケア、心身機能の維持、向上を目指したサービス提供に積極的に取り組んでいる。</p> <p>社会的要請にも応えるべく地域の方々のニーズの把握にも努め、短期入所事業の稼働率向上と、地域や関係機関との連携強化を図りながら、地域包括ケアシステムの構築が推進される取組に引き続き期待する。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし
